

2019 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

2020年 1月 14日

所属名 : 京都府 京都市立桃陽総合支援学校

実践学年組: 小学部

応募者名: 山口 香里, 中園 正吾

教科	特別活動
実践期間	平成31年 4月 9日 ~ 令和2年 3月 19日
実践タイトル (35文字以内) こくぼくんのわくわく学校たんけん! ~動画の活用による自主的・対話的な学び~	
実践の目的 5つの病院の分教室と本校の児童は、それぞれの教室に実際に行ったり、児童同士会ったりすることはない。この実践を通して、自ら学び挑戦する力を育むとともに自分と他者との関係を築き連帯感や交流の楽しみとなるようにする。	
実践のポイント・工夫 児童が、写真や動画を撮影したものをコラボノートで共有する中で、楽しみながら友達同士の関係性を作れるように配慮した。特に、児童自身がチャレンジ動画に出演することができるように、動きなど配慮し、テーマを工夫した。 また、写真や動画はクリックしてみないと内容が分からないようにワクワク感を持たせた。	
実践内容 (簡単に) 小学生の憧れの職業の上位に入るユーチューバーやアイドルの様に、写真や動画をアップすることで、自分のいる教室や、自分自身をアピールしやすくするようにした。指導者が児童も挑戦できそうな内容のおもしろい動画を作成しきっかけ作りを行った。年度の途中で入学する児童が多いので、写真と動画で楽しい各教室案内のデジタル鳥瞰図を完成させるようにした。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 教室の案内を児童自身が考えて、取材することで、5つの分教室と本校のそれぞれの児童の視点や特徴があることが分かった。 コラボノート内だけではあるが、児童は動画作成から配信までとユーチューバーになった気分が味わえた様である。	
自由記述欄 ぜひ動画や写真を観ていただきたいところですが、データ量が多くなることと個人情報保護の関係で動画は添付しておりませんことご了承ください。	

実践記録の概要（単元略案）

全 28 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノート の活用
4 月	この探検地図の作成を開始 ・本校 1 F ・本校 2 F	各分教室の見本となるように本校の見取図を作成。見どころ部分を撮影した。キャラクターの“こくぼくん”がクリックするように促し、参加してもらうようにした。	地図の上に写真や動画を貼ってもらうように地図の絵を背景になるようにした。
2	リクエスト募集 ・各分教室の地図の作成 ・見どころ写真の撮影	分教室の児童に教室の図面を作ってもらったようにした。デジタルカメラの使い方を知ってもらい、撮影ができるようにした。	リクエストを付箋で貼ってもらう。
5 月	本校地図の作成 ・まなびの森	森の紹介を行う。興味を持ってもらうように「たけのこ掘り」の動画をアップした。	写真と動画の添付。別ページ「みんなの畑」へリンク。
2	教室地図作成開始 ・府立分教室 ・市立分教室	作業可能な分教室から開始した。また、「虫ハカセ①」動画をアップした。	写真を貼ることを中心に状況を理解してもらう。
6 月	教室地図作成 ・京大分教室 ・国立分教室	府立、市立のものを参考にしても良かった。また、「虫ハカセ②」動画をアップした。	写真を貼ることを中心に状況を理解してもらう。
7 月	動画（YouTube 的コーナー）の作成 ・みんなの体育館	いろんなことにチャレンジした写真や動画をアップしてもらうようにした。	先生の挑戦動画を添付（2点）。
2	チャレンジ動画の作成開始	コマ送りアニメーション作成のやめの指導。	動画の添付と付箋によるコメントによる双方向のやりとり。
2	教室地図作成 ・二赤分教室	京大、国立のものを参考にしても良かった。	動画の添付を理解してもらう（8点 UP される）。
9～ 11 月	チャレンジ動画でのやりとり	動画「スポーツ十番勝負」4 作をアップした。	動画の添付を理解してもらう（18点 UP される）。
12～ 2 月	動画の作成 2	新しいチャレンジ動画 1 本、「マット運動の解説」動画を作成し、“こくぼくん”が再度説明し、新しい児童への参加を促した。	動画の撮影とその動画を貼ることを中心に状況を理解してもらう。
通年	写真、動画へのコメントと動画の作成	みんながチャレンジできる動画をコラボノートに貼り付け、配信した。	随時書き込まれるコメントや写真、挑戦動画による交流。